

～ アメリカの中学生の生徒手帳から ～

足利市立第二中学校 太田 武久

はじめに

去る、昭和55年7月26日より9月22日までの59日間、第二回文部省派遣、英語担当教員海外研修、ミネソタ大学班の一員として、米国の地で勉強するチャンスを与えられました。

前半の一ヶ月はミネソタ大学で語学研修を受けましたが、誠にきびしいものでした。しかし、一ヶ月間、一ヶ所に動かず滞在し研修できたことは、アメリカの生活の実態をかい間みること到大変役に立ちました。その後、合衆国各地を視察し、最後にデラウェア州ウィルミントン市（ニューヨークからバスで3時間位のところ）にある公立中学校を10日間にわたって訪問しました。近所の米人宅に家庭滞在しながら通ったわけですが、ここでは全くの単独行動であり、緊張の連続でしたが、英語を使う面では最も勉強になりました。

このスカイライン中学校は、生徒数約500人位の中規模の学校で、まわりは静かな住宅地で、高台に位置して、とても美しい所でした。先生方は大変親切であり、生徒たちは、大変明るく、人なつっこく、また勉強熱心でとてもよい印象を与えてくれました。新学期が始って一週間位のところだったので、生徒たちもとくに意欲的だったのだと思います。良きにつけ、悪しきにつけ、アメリカ合衆国は、我が国の数年前を歩んでいるとよく言われていますので、非行面にも関心があったのですが、あまりひどい様子は見うけられなかったようです。しかし、カウンセラー氏の談によると、人種のちがいによる反目、離婚（30%の高率とも言われている）による家庭崩壊からくる非行がかなりあるとの事でした。

そこで、本稿では、この中学校の生徒手帳を翻訳する事によって、ある程度、アメリカの中学校の問題点が浮きぼりになるのではないかと思います。思い訳してみたものです。

この生徒手帳（手帳というよりも、ハンドブック的なもの）は、 $24\text{cm} \times 30\text{cm}$ のやや厚い紙でできており、2枚折りになっています。そして、下の方が袋状になっていて、そこに、いろいろな書類等を入れられるようになっています。生徒は全員、教科書やノートと一緒に、このつづりを常にかけて行動していました。

◎ 序

この学校の基本原則は「お互いの尊敬」(mutual respect)ということです。かんたんにいうと、生徒の誰もが学ぶ権利をもっており、先生たちの誰もが教える権利をもっているという事であり、民主主義の社会では、だれもが学んだり、教えたりする権利を妨害することはいけないということです。我々教師がすべき主な仕事は、あなたがたが、自分自身や他のクラスメートや、また大人たちを尊敬できるようになるよう助ける事です。自分自身を高める事 (Self-Discipline) は、あなたがたの義務であります。もし、お互いがうまくいった場合「お互いの尊敬」という原則が破られなかったという事になります。

全ての少年少女にできるだけ多くの学ぶ機会を与えようというのが、この学校の考え (philosophy) です。そして、この機会をどう生かすかは、全くあなたがたの力にかかっています。あなたがたが、する全ての事に全力をつくすよう努力しなさい。あなたがたはこの学校の一部 (a part of this school) なのですから、あなたがたがする事によって、この学校がどんな学校になるか、きまってきます。みなさんが、ベストをつくす事を信じています。スカイライン中学は、まちがいなく、生徒たちが学ぶのに、また先生方が教えるのに、とても楽しい場所になるでしょう。

校長 Lohn L Tentoromono.

◎ 休日 (休業日) ～1980年～

- 9月2, 3日 …………… 先生の休日
- 10月13日 …………… //
- 11月4日 …………… 大統領選挙日
- 11月27, 28日 …… 感謝祭
- 12月24日～1月4日 …… クリスマス休暇
- 1月15日 …… マルティン・ルーサー・キング・ジュニア誕生日
- 2月13日 …………… 先生の休日
- 2月16日 …………… ワシントン休日
- 4月11～19日 …… 春休み
- ※ ● 5月29日 …………… 戦死者記念日
- 6月12日 …………… 最終日

※ 南北戦争以降の戦死者の墓に花輪を飾る…… Decoration Day と呼ばれる。

(筆者加筆)

◎ スカイライン、夜の活動

- 10月 8日 …… 7:15 PM スカイライン両親の夕べ
- 12月15日 …… 7:30 PM クリスマスのプログラム
- 4月28日 …… 7:30 PM 春のコーラス・コンサート
- 5月 5日 …… 7:30 PM 春のバンドコンサート
- 5月19日 …… 7:30 PM 春のオープンハウス
- 5月27日 …… 7:30 PM 運動会 (陸上記録会)

Athletic Awards Assembly

◎ 通信カードの示し方 (Report Card Marking System)

次の文字が、生徒たちの進歩の状態を表します。

A.....93~100点 B.....85~92点 C.....77~84点 D.....70~76点
E.....70点以下 (履修認定せず.....NO. CREDIT)

◎ 通信カードの授与日

第1期.....11月7日 第2期.....1月23日 第3期.....3月27日

第4期.....6月12日 (学年の最後の日)

◎ 欠席について (Absences)

学校を欠席するものは、養護教諭 (Nurse) に連絡しなければならない。その際、両親や医師の手紙や診断書が提出されるべきであります。もし、それがない場合は、後日、州立学校の許可書を完成し、養護教諭に渡すように言われるでしょう。

◎ 遅刻 (Tardiness)

始業のベルが鳴った後で、ホームルームへ来た者は、遅刻とみなされます。そして、養護教諭の事務所へ行き、授業に出る許可を得ねばなりません。家でやむを得ない理由があり、おくれた生徒は、遅刻を説明する書類を出せば、授業への許可書を受けとる事ができます。遅く来た生徒は、昼食ぬきで三時間の授業を受けねばなりません。そうでないと、その日は欠席になります。

◎ 早退について (Early Excuses From School)

早退を希望する生徒は、親からの手紙をホームルームの前に養護教諭のところへ出さねばなりません。もしそれが、病院や歯科医への通院ならば、それを証明する医者や歯医者サインをする場所のある証明書 (form) を養護教諭が手渡すでしょう。生徒はそれを、次の日に提出しなければなりません。

◎ 転校・退学 (with drawals)

他の地域に転校する場合や、退学する場合は、最初に全ての先生のサインのある退学届を事務長から受けとらねばなりません。そして、教科書や図書館の本を返し、学校への未払いのお金を支払いし、そのことを証明してある届書を事務に出さねばなりません。その手続きの後で、退学証明書を事務長から受けとる事ができます。

◎ 学校保険 (School Insurance)

生徒の保険は、この地域の学校が最も適当と考えた保険会社と契約されます。保険会社は親と直接に取り引きすることになります。学校は単に仲介の役をとるだけです。

けがをした生徒は (医者や病院の治療を必要とした場合)、すぐ、養護教諭に連絡しなければ

りません。24時間以内に金銭の請求が必要かどうか、わかるでしょう。これは、学校への往復や学校行事、スポーツのクラブ等の時の傷害にのみ適用されます。

◎ 優秀者の名簿

この優秀者名簿は、各学年末に発行されます。その基準は次の通りです。

- 最優秀者…… 4:00 ※累積指数を持続した生徒 ※ cumulative index
3:00~3:99の累積指数を持続した生徒

◎ 特別活動 (EXTRA CURRICULAR ACTIVITIES)

学校対抗のクラブ活動

- サッカー ● ホッケー ● レスリング ● バスケットボール ● 野球 ● 陸上競技 ● バレーボール ● ソフトボール ● 応援団 ● カメラクラブ ● 新聞クラブ ● 購買クラブ ● 生徒会
- 生徒のリーダー ● ロケット ● 模型クラブ ● コーラス ● バンド ● 養護教員の補助
- 事務室の補助 ● 図書館の補助 ● 視聴覚クラブ

○ 朝学校へ来たら (Morning Arrival)

天候の許すかぎり、始業ベルの始まるまで外で待っていること。徒歩通学者は長く待たないですむように、15分以上前に登校しないこと。先生の発行したバスを持っている生徒だけが、早く校舎に入ることを許されます。

◎ ロッカーについて

どの生徒にも、ロッカーが割り当てられます。自分できれいにしておいて下さい。カギをしっかり保管しておくように。もしカギがおかしくなったら、事務室に申し出なさい。開け方がわからなくなったら、ホームルームの先生に聞きなさい。他の人と交替するのは絶対にいけません。

ロッカーは学校のものです。そして、定期的にきれいになっているかどうかチェックをします。また、必要な時には、盗まれた物があるかどうか、学校へ持ってくる事を禁じられている物がないか調べる事があります。

学校に持ってきてはいけないものは、ナイフ、爆竹、マッチ、タバコ、マリファナ、喫煙道具、そして武器 (Weapons) や危険なものです。

◎ 服装等 (Appearance) に関する両親への注意 (A special Note to parents on Appearance)

スカイライン中学では、生徒の服装等について誇りを持っています。そして、これからもこの高い水準 (high standard) や誇りが続く事を強く希望しています。水着のようなスーツ (bathing-suit style clothinh) 等はふさわしいものとは考えません。

両親としてあなた方は、この理想的な水準を保持するようご協力下さい。法的には、もし教育的な過程を破るような行為があつた場合、親のような権威 (parental authority) でおしつ

けることができるわけですが、良識ある判断とご協力を両親・生徒ともどもに、お願いしたいと思います。

もしその事態が進んで、生徒がこの高い水準を破るような事になった場合は、そのましがいいに気づいてもらい、直すよう、ご両親と話し合わねばなりません。教師としての私たちと、親としてのあなたがたが、本当の意味で協力していかなければなりません。また、次のようなことは特に注意して下さい。

1. はだしではいけません。
2. クラス内では、重いオーバーを着たり帽子をかぶってはいけません。
3. 自分を守るための十分な服装はしなければなりません。

◎

病気や傷害等で休んだ後、どんな勉強（作業）がおくれたかを相談するのは生徒の責任です。普通の場合、休んだのと同じだけの猶予の期間が、そのおくれを取り戻すのに与えられます。

すなわち、三日休んだら、きめられた勉強（作業）を完成するのに三日猶予の日が与えられます。

◎ カウンセラー相談

④ スカイライン中学には、カウンセラー、相談者のサービスがあります。そこでは、個人的進路相談、勉強の相談がなされます。このサービスは、ガイダンス、カウンセラー、社会事業家（ソーシャルワーカー）、教育心理学者をかねています。

⑤ 生徒が、学校のカウンセラーに会うには

1. カウンセラー室の外にある机の上の相談希望カードに記入し、きめられた箱に入れなさい。
2. カウンセラーは、できるだけ早い時期に約束のスケジュールを立ててくれるでしょう。
この約束は、ホームルームの時間の時に先生から教えられるでしょう。
3. カウンセリングを受ける時は、この約束のカードにその時の先生にサインしてもらいなさい。テスト等にぶつかっている時は、もう一度スケジュールを立てなおしてもらうように、カウンセラーに届け出なさい。

◎ ご両親も、息子さんや娘さんの勉強の問題、交友の問題、情緒の問題等で質問がおきたときはこのサービスを利用される事をおすすめします。電話は 998-1271 です。

◎ 訪問者

生徒たちは、場合により、この州以外の親せきの者をこの学校に連れてきたいと思うかもしれませんが、これは、同年輩の生徒であることが必要です。また一日前に、両方の両親のサインをして校長室に許可書を出さなければなりません。例外はいっさい認めません。

◎ 購売部 (School store)

購売部は、カフェテリアのとなりにあります。生徒たちによって運営されています。全ての利益

は、生徒会のものになります。学校で必要なものや、また新しい物が、その店にはあります。
始業前と昼食時に開かれています。

◎ 生徒協議会 (Student Council)

生徒会協議会は、生徒の声となります。この会員になるには、選挙によります。この会の目的は
④何が正しいかという学校の気持ちをしっかりさせること ⑤学校運営を助けること ⑥名誉ある
市民としての態度を持ち続けること ⑦先生と生徒とのハーモニーを増進すること ⑧学校活動の
秩序正しい方向を規定すること ⑨生徒の基金を調節すること 等です。

10月に7年生は、代表者を選挙します。また7年生、8年生は次の年度のために4月に選挙
します。この一員になるためには、リーダーシップ（指導力）、誠実さ、責任感、信頼性が要求され
ます。

◎ 養護教諭 (School Nurse)

学校にいる間、養護教諭の援助を受ける事ができます。当教諭に会いたい生徒は、先生のサイン
のある許可証を持っていなければなりません。行く前に次の質問を自分に問いかけてみて下さい。

1. 本当に（養護教諭のところへ）行く事が必要なのか。（Is this trip
necessary ? ）
2. サインされた許可証があるかどうか。

養護教諭は生徒の病気について、全て電話連絡することになっています。学校の方針として、生
徒自身が両親に、連れにきてくれるように電話連絡することはできません。

養護教諭は、かかりつけの医者（family physician）の要請がなければ、アスピリンや
薬を与える事はできません。これは、1965年5月6日の州教育委員会の決定事項です。もし、
両親がアスピリンを必要とする時があると感じた時は、定例身体検診の際（学期始め）に話してお
いて下さい。

養護教諭は学校でおきた病気についての応急処置や治療のアドバイスはします。健康に関する問
題は親の責任であり、親とかかりつけの医者で話し合われるべきです。

◎ 電話と電話のとりつき

公衆電話は体育館のロビーのところにあります。生徒は先生の許可を得て、緊急の場合使用して
もよろしい。

個人の生徒の電話のとりつきは、緊急の場合を除いてはできません。授業中は絶対にとりつきま
せん。

◎ スクールバス

学校の往復時の交通とその安全は、担当のバス運転手の責任です。バス乗車の特権を乱用したり
不行跡のために他の者を危険にさらしたような時には、このバスに乗る特権は取り除かれます。

バスに乗る場所は特別にきめられます。その所だけを乗れるという事は重要なことです。もしも重大なバスの問題があつたら、すぐに解決されるよう、事務室に通告して下さい。

◎ 学校からでる事 (Leaving School Grounds)

生徒は始業時から放校の時まで、学校にとどまっていなければなりません。事務所の許可なく学校から出た場合、その生徒は無断外出とみなされ、懲戒的な行為 (disciplinary action) を要求されます。

◎ 教科書

教科書やその他の教材は教育委員会で買い、生徒たちに貸し出されます。生徒たちはそれらを大事に扱わなければなりません。そして返すように言われた時は、良い状態で返さなければなりません。よごしたり、こわしたり、失くした場合は、全額あるいは一部を支払わなければなりません。本を失くしたり、こわした場合、すぐに先生か事務室に報告しなさい。

◎ 留め置き室 (放課後、処罰として) (The Detention Hall)

次のような事をした生徒は、上記の部屋にいかなければなりません。

- 他人の権利を妨害し続ける者
- 学校の方針や学校のきまり (school regulations) をいつも無視している者
- 自己修養 (自分を高めること) Self discipline をやらない事を誇示している者

この留め置き室に行くように言われた生徒は放課後、およそ1時間か1時間半いなくてはなりません。もしそのような場合は、次のことをおぼえておきなさい。

1. てきばきと報告すること。
2. 勉強できるようにしてくること………エンピツや紙を持ってきたさい。
3. 話したり、チューインガムをかんではいけません。
4. きめられた席につきなさい。
5. 解放されたら、ロッカーに戻らず、校ぐ校舎から出なさい。

上の事に応じられない場合、もう一度、留め置き室行きになるでしょう。この留め置き室は、水曜日放課後すぐにひらかれます。

◎ 集会

1. 普通の姿で、カフェテリアに静かに入ります。
2. クラスとして、一緒に座わらなければなりません。
3. プログラムが始ったら、聴衆者は静かにしなければなりません。
4. しつかり拍手すべきです。拍手によって評価すべきです。
5. 自分がもし、出演者だったら、こうしてもらいたいと思う様なふるまいをしなさい。
6. 演技中は、話をしてはいけません。

7. 集会のプログラムの時、不作法な事をした生徒は集会不適格者リストに乗せられ、その後の集会に参加できないでしょう。

◎ カフェテリア

ここは、食事をしたり、リラックスしたりする場所として、楽しく、きれいな所にしておかねばなりません。そのようにしておくのは、あなたの責任です。次の指示を守ってください。

1. エチケットを守り、良いマナーに気をつけなさい。食べ物はカフェテリアから持ち出してはいけません。
2. 昼食を買ったらすぐに、席につくように。
3. 低い調子で、話すこと。
4. 何か床に落したら、モップを使いなさい。
5. 食べ終わったら、テーブルをきれいにするのはあなたの責任です。
6. テーブルを離れる時には、イスをしつかり入れておきなさい。
7. 食べた後、ふらふらしないこと。

◎ 生徒の行動のきまり (Student Behavior Regulations)

1. タバコをすう事、マッチやライターを持っている事は、いかなる場においても禁止です。
2. 放課後、学校をぶらつかないこと。
3. 水鉄砲、爆竹、勉強のじゃまをするようなしかけは禁じられています。
4. 代理の先生に迷惑をかけた時は、倍の留め置きを果せられます。
5. 学校の往復時、雪合戦することは禁止です。とくに、学校の前やバスストップではやってはいけません。雪合戦は、校舎や道路から離れた場所でやればおもしろいものです。
6. ガムをかむ事は許されていますが、この特権が乱用された場合、この特権はすぐに又は永久に失われるでしょう。
7. 生徒の反抗は、大目に見るわけにはいきません。ここで反抗というのは次のような事です。
 - ㉔ 先生に口答えをすること。大声で議論すること、また口ぎたない言葉をいう事です。
 - ㉕ おこられている時に、先生のところから逃げること。
 - ㉖ 本をボタンと閉じたり、ドアをボタンとしめるような、明らかに反抗的な態度をとること。
 - ㉗ 先生方の正当な指導や命令 事務室に連絡に行ったり、授業の後でクラスに残っている事等を断ること。
 - ㉘ 先生にいやな顔をすること。
8. 危険な薬、ビル、マリファナ、麻薬、アルコール、等を持っていたり、売ったり、交換したり、使ったりすることは禁じられています。このような事をした場合、生徒は責任をとらねばなりません。すぐに親と警察に連絡します。そして、5日間の登校停止、もしくは放校処分になります。同じように、パイプやボウルのような、薬の道具を持っていることも禁止です。
9. きたない、みだらな言葉を使つてはいけません。

10. 学ぶふん囲気を保つために、また、生徒や先生方の安全や福祉を保証するために、次のような事が再確認されるべきです。

④ 不法に学校をなまけたり休んだりした生徒、また、無断で早退した者はきびしく戒められるでしょう。

⑤ 理由なく他人を攻撃した生徒 (un provoked attacks) は登校停止、放校になります。そして、警察にまかされます。

⑥ 人の物を盗んだり、強奪したりして、他の生徒を苦しめた生徒は登校停止、放校になり、そして、警察にまかされます。

11. 授業間 (生徒が部屋へ動く) は、ふらふらしてはいけません。すぐに次のクラスに行くべきです。その移動の時間は3分を越えてはいけません。

◎ 教師と親の会議 (Parent-teacher Conference)

10月9日から、毎火曜日、放課後、1時間半は、親と教師の会の時間になっています。

全部の先生たちがこの時間はいますので、何人もの先生に会うことができます。

この時に出席できない場合、スクール・カウンセラーに電話して、他の取りきめをして下さい。

おわりに

以上、大変つたない日本語訳ですが、我々の学校の生徒手帳や、学校のきまりと比較してみて、いかがでしたか。「序」にもあるように「お互いの尊敬」を旗じるしに、お互いの権利を認め合い権利の侵害を許さないという事が、一つのバックボーンになっているようです。もちろん、やらなくてはならない義務をしっかりと果す事が前提になっています。我が国と違い、人種の「るつぽ」のようなアメリカの社会では、お互いがこのような考えを持って生活をしていく事が特に要求されているのだと強く感じました。

我が国における中学校のきまりでは、かなり服装面が大きなウェイトをしていますが、この点は全く自由にまかせてあります。お互いの常識を信じていると言えます。

しかし、ある面では、日本よりもはるかに細かいところまで気をつかっているようです。「留め置き室」の所でのべたように、学校のきまりや方針を無視した者や、他人の権利を侵害した者には、きつい処罰が果せられているようです。また、生徒の行動のきまりにおいても、雪合戦の事から、マリファナ、麻薬の事まで、言及しているのはおもしろい事です。そして、登校停止、放校処分という処置がきまっている点、われわれのとは異なっています。また、このような事がどのように学校外の機関と連絡できているのか、今回はこの事について調べてみたかったのが、残念ながらできませんでした。

日本では、日本独自の学級を通しての師弟関係によって、かなりの問題が未然にふせがれ、また善処されてきたわけですが、昨今の校内暴力を中心とした生徒指導をみた時、他人の権利を侵害した者に対する厳しい処置、また他の機関との関係をもっと考えていかねばならないのではないかと

いう気がします。

アメリカの中学校の訪問中に、この生徒手帳をもとに、もっと詳細な点について質問ができればよかったと、今頃になって猛反省しています。今後、この点を研究してみたいと思っています。

最後にご感想・ご意見等、お聞かせ願えれば幸いです。